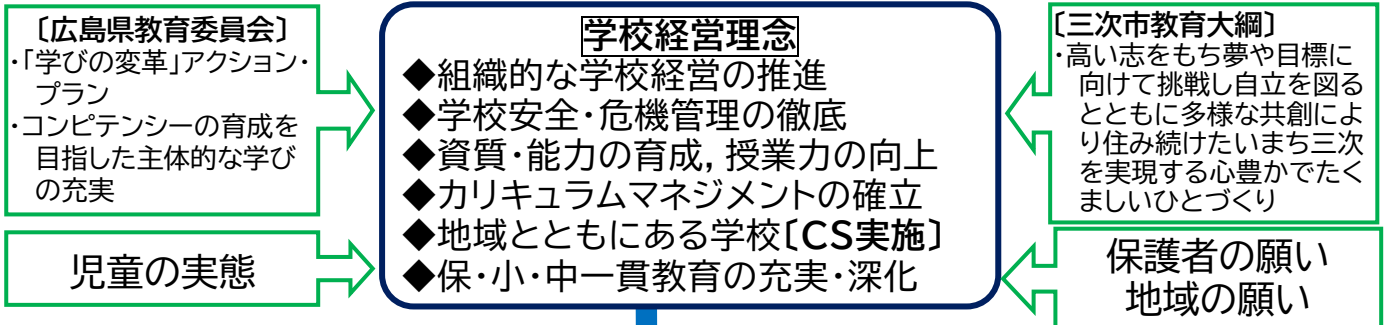




令和8年度 作木小学校学校経営構想図

ミッション ふるさと作木を愛し、自分の夢や希望に向かって行動する結芽人の育成
ビジョン 保護者・地域と協働し、児童の「学びに向かう力」を最大限に伸ばす学校



【学校教育目標】
 ふるさと作木を愛し、新しい時代をたくましく生きる児童の育成
 －元気 本気で 最後まで－

【目指す子ども像】
 ・学び進む子 ・考え行動する子 ・共に成長する子
 《資質・能力 ○知識・技能 ○思考力・判断力・表現力 ○学びに向かう力 ○自己理解》



確かな学力

- ◎主体的・対話的で深い学びを実現する授業改善
- ・算数科の授業づくり・複式指導の充実
- ・ICT活用
- 学びと向き合うための基礎・基本の定着
- ・読書活動の充実
- ・帯学習の実施(漢字・読解・計算の力の定着)

・「主体的な学び」「協同的な学び」の視点で児童アンケートを行った肯定的回答の割合 (80%)
 ・単元末テスト(国語科・算数科「知識・技能」70点以上の児童の割合)70%

豊かで健やかな心身

- ◎自己肯定感の向上
- ・特別活動の充実・教育相談の実施
- ・日常的な評価の工夫
- 学びに向かう基礎体力の向上
- ・体育科授業の改善・外遊びの奨励
- ・業間体育の実施
- ・生活リズムの改善(小中連携・家庭啓発)

・児童アンケート、i-checkにおける「自己肯定感」「思いを伝える」「お互いを認め合う」項目の肯定的回答 (80%)
 新体力テストの結果 AB 率(60%)
 ・就寝時刻の目安を守っている児童の割合(70%)
 ・メディアに関する家庭のルールを設けている家庭の割合(70%)

地域とともにある学校

- ◎積極的な情報発信
- ・学校・学級・保健便り等の計画的な発行
- ・HP更新・他校との学習交流(越境体験)
- 「作木ふるさと学習」の発展・深化
- ・新コア・カリキュラムの評価・改善
- ・ゲストティーチャーの招聘

・週一回以上のHP更新(95%)
 ・保護者アンケート「学校は情報発信を積極的に行っている」(95%)
 ・児童アンケート「地域のことを学ぶことが楽しい」(90%)
 地域活用授業全学年で2回以上

特別支援教育の視点(個に応じた支援)(関係機関との連携)(授業の工夫・改善)

【目指す教職員像】(中心価値・行動規範)

○教育的愛情と使命感 ○磨き合い協働して実践 ○組織協働の意識改革

学校安全の確保

信頼される学校

服務規律の徹底

◎子供と向き合う時間の確保

・時間外勤務時間月 45 時間以下達成職員(90%) ・会議時間1時間以内達成率(90%)

家庭の基盤

◎生活リズムを整える場

- ・三点固定(早寝早起き朝ごはん)
- ・挨拶励行(おはよう、いただきます、ただいま)
- ・家庭のルール(メディアコントロール)

ウエルビーイングの向上

作木の子育てで
つながる

地域の支援

◎学びを広げる場

- ・教育活動への支援(GTの派遣)
- ・学校運営協議会との協働(経営方針共有)
- ・地域の伝統文化の継承(次世代の育成)